

	開催日	場 所	内 容
豊能	11月28日(水)	豊中市保健所	(1) 第7次大阪府医療計画について (2) 豊能二次医療圏精神科医療機能について (3) 豊能二次医療圏における依存症医療について (4) その他
三島	10月5日(金)	高槻市保健所	(1) 会長の選任について (2) 三島二次医療圏における精神医療の体制と今後の取組みについて (3) その他
北河内	10月26日(金)	守口保健所	1 第7次大阪府医療計画について (1) 多様な精神疾患に対応できる医療体制の構築 (2) 依存症関連課題の支援体制について 2 その他
中河内	10月19日(金)	八尾市保健所	(1) 会長の選任について (2) 中河内二次医療圏における精神医療の体制と今後の取組みについて (3) その他
南河内	11月1日(木)	藤井寺保健所	(1) 南河内二次医療圏における精神疾患医療の充実に向けて ・府域における精神疾患医療の現状と課題 ・南河内二次医療圏における精神疾患医療の現状と課題 ・精神疾患医療の充実に向けて (2) 意見交換 (3) その他
泉州	12月10日(月)	岸和田市立福祉 総合センター	(1) 第7次医療計画に基づく精神疾患対策について (2) 各種データから見る泉州圏域における精神医療の状況について (3) その他
大阪市	11月16日(金)	大阪市こころの 健康センター	(1) 第7次医療計画の大阪市二次医療圏における今後の取組（方向性） 【精神疾患】の進捗管理状況について (2) 第7次大阪府医療計画の地域連携拠点医療機関（地域拠点）について (3) その他

<主な意見>

<p>多様な 精神疾患</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 目標数はすべて「増加」となっているが、医療機関数が増えればよいというものではない。</li> <li>• 初診の予約がとりにくい。特に児童思春期が課題。</li> <li>• 認知症やてんかんなどは精神科だけで診ているわけではない。</li> <li>• 発達障がいの人が診療所でも訪問看護でも増えている。</li> <li>• クロザピン治療は大学病院が中心になっているが、必要な患者は多く、今後は診療所を含めて連携し進めていきたい。</li> </ul>
<p>合併症 (救命救急)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 救急病院がバックアップしてくれる安心感があると、精神科病院でも合併症のある人への治療が積極的になれる。</li> <li>• 二次救急で、フォローアップが充分できないため受け入れを断ることがある。</li> <li>• 合併症支援システムの当番病院は南北バランスのとれた配置にしてほしい。</li> <li>• 合併症の対応で、本人が希望していない場合、精神科治療につなげるのが難しい。</li> <li>• 合併症受入数を出し合って、病院間でシェアするとよい。</li> <li>• 対診が事業化されるとよい。</li> <li>• 合併症については、高齢者が増えるなか、総合病院、救命救急、診療所等が連携することが必要。</li> <li>• 精神科で身体的治療が必要な場合、一般医療機関は対応するようになったが、逆に身体科で精神症状が出たときが課題ではないか。</li> <li>• 三次救命から自殺未遂者を治療後に精神科へ送った時は、精神科からその後のフィードバックがほしい。</li> </ul>
<p>自殺未遂</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 過量服薬は課題。薬を管理するシステムがあればよい。</li> <li>• 自殺未遂者への救急搬送については、処置後の精神科の受け入れ先が難しいことが課題。</li> </ul>
<p>依存症</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 圏域内に依存症の地域連携拠点機関はないが診察はしている。救急でも対応。必要があれば他圏域の専門医療機関に紹介している。</li> <li>• 薬物依存症は触法が関連すると難しいところがあり、公的医療機関での取り組みに期待する。</li> </ul>
<p>認知症 (高齢者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 認知症の人が増え、急性期を診る身体科医療機関が対応に苦慮している。総合病院、救命救急、診療所等が連携することが必要。</li> <li>• 1人暮らしが難しい高齢者の地域移行後の施設づくりを、医療、介護、行政と一緒に考える必要がある。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域包括ケアシステムの構築に向けて、具体的にどのように見える形にするのが課題。</li> <li>• 歯科医師の研修で、精神疾患やその対応方法についての研修があればよい。</li> <li>• 二次医療圏で抜けている機能がないか、それをどう埋めるかを考えることが重要。</li> <li>• 児童虐待による心の傷が、大人になって精神疾患につながることもある。</li> <li>• 身体科でも、メンタルに課題のある患者は多数いる。すべてを精神科が診ると全く足りない。かかりつけ医の役割をどう考えるか。</li> <li>• 自傷他害が無くて受療につながらないケースの対応を行政が検討してほしい。</li> </ul>